



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 荒木康雄 幹事 向山賢悟 会報委員長 唐木 拓 第2969回 例会2022.10.27 No.1629



2022-23 年度 RI テーマ

IMAGINE ROTARY

ソング 我等の生業**会長談話** 荒木康雄会長

先日 23 日は二十四節季の「霜降」でした。朝夕の冷え込みが厳しくなり霜が降り始める頃とされています。一方、山々や街並みが紅葉で美しく色づき秋の深まりを感じさせます。この季節に真っ赤な美しい紅葉を見ると、南洲翁「西郷隆盛」の漢詩の一節「雪に耐えて梅花麗しく、霜を経て楓葉丹し」を思い出します。「梅の花は厳冬の雪の中に耐えてこそ麗しく咲き、楓の葉は幾たびも霜の厳しさを凌いだほどより赤く色づく。人間も辛いことや苦しいことを耐え忍んでこそ大きく成長する。」と説いていて面白い深く、私の好きな一節です。

さて、皆さんは、植物にも人間と同じように血液型があるのをご存じですか？植物にも人間と同じように「A型」「B型」「O型」「AB型」の4種類の血液型があるそうです。但し、植物の血液型の測定は、植物に含まれている糖タンパク質を測定しますが、糖たんぱく質を含んでいる植物は植物全体の約10%しかいないため、全ての植物の10%くらいが血液型判定できると言われています。そのうちの約半分が「O型」で残りのほとんどが「B型」か「AB型」で、「A型」は少ないそうです。「O型」のカエデは赤く紅葉しますが、「AB型」のカエデは黄色く紅葉します。同じ木でも黄色から赤へと紅葉が変化する場合は、血液型も「AB型」から「O型」へと変化していくそうです。皆さんも秋の紅葉を楽しみながら色を意識して植物の血液型を想像して



みて下さい。余談ですが、猫はほとんどが「A型」で、魚は全て「A型」とのこと。犬の血液型は人間とは違って「DEA式」といって8種類あり複雑に分類されるそうです。但し、犬の場合は血液型によって性格が変わることはないようですので犬を飼っている方はご安心下さい。

本日は、ポリオデー例会です。「ポリオ根絶」はRIの第一優先課題です。当例会を通じて改めてポリオについて皆で考え、意識を高め、根絶に取り組みましょう。

幹事報告 向山賢悟幹事

1. 上沢広光ガバナーより、先日の公式訪問の礼状が参りました。
2. 青年会議所より、創立55周年記念式典の礼状が参りました。
3. ボーイスカウト日本連盟より、創立100周年記念寄付の礼状が参りました。
4. T-LIFE パートナーズ株式会社より「2023年国際ロータリー年次大会参加旅行」のご案内です。

日時 2023年5月27日(土)～29日(月)
 場所 オーストラリア メルボルン
 参加希望の方は事務局までお知らせ下さい。

【11月のプログラム】

- 3日(木) 「中尾歌舞伎伊那RC特別公演」
- 6日(日) 地区大会
- 10日(木) 6日(日)へ振替
- 17日(木) クラブフォーラム(国際奉仕・財団) ※例会終了後、理事会
- 24日(木) I G M(会場・時間変更)

☆お知らせ

- ・本日ポリオプラスの募金箱を廻しますのでご協力をお願い致します。
- ・本日例会終了後、理事会を開催致します。役員・理事の方はご出席下さい。
- ・次回の例会は11月3日(木)地区補助金事業「中尾歌舞伎例会」です。お間違いないようお願い致します。
ご出欠の連絡がまだの方、ご家族が参加される方は明日28日(金)までに事務局までご連絡をお願い致します。

出席報告 会員数 56名 内出席免除者 19名
出席者 35名 事前メンバー0名 出席 72.92%

ニコニコボックス

- ・山田 益 本日朝のNHKラジオの「毎朝だより」で駒ヶ根工業高校の生徒の活動と宮田村のアルマイトの会社が紹介されました。
- ・赤羽弘之 クラブフォーラムで、ポリオデーについてお話させていただきます。
- ・本田敏和 久しぶりに東京へ商談会に行ってきました。
- ・唐木 拓・唐澤洋祐 商工会青年部では、役員・議員との交流会を11月23日に予定していますので、是非ご参加お願い致します。
- ・唐澤洋祐 中尾歌舞伎に出演の練習を週2回していますが、大変すばらしい仕上がりとなっておりますので、多数のご参加お待ちしております。

クラブフォーラム ポリオデーについて 赤羽弘之国際奉仕・財団委員長

ポリオ（急性灰白髄炎）はウイルス感染によって発症する病気で、ワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体まひを引き起こし、ときには死に至ることもあります。5歳以下の子どもに感染する確率が高く「小児まひ」とも呼ばれています。ポリオはワクチンで予防可能ですが、治療法はありません。ほかの多くの疾病とは異なりポリオは根絶が可能です。

ロータリー会員は、これまでに24億米ドル以



上を寄付し、122カ国、30億人近くの子どもに予防接種を行うために多大なボランティア時間を捧げてきました。また、アドボカシーを通じて各国政府からの100億ドル以上の資金を確保する上で重要な役割を担ってきました。

1988年にロータリーとパートナーが世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）を開始した当時は、125カ国で毎年35万件のポリオの症例がありました。現在、ポリオの発生率は99.9%減少しており、野生型ポリオウイルスの発症が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。ロータリーとパートナー団体によるポリオ根絶活動のおかげで、身体まひとならずにすんだ人の数は推定約1940万人、命を落とすことのなかった人の数は推定150万人以上に上ります。

ポリオ根絶活動のために築かれたインフラはほかの疾病（新型コロナウイルスも含む）の治療と予防にも利用されており、ほかの公衆衛生分野にも長期的なインパクトをもたらしています。

ロータリーとパートナー組織は、ポリオ根絶の実現に向けて大きく進展してきました。しかし、症例を完全になくすには、さらなる前進と粘り強さが必要とされます。アフガニスタンとパキスタンでは、政情不安、人口移動、地理的要因、場合によってはワクチンの拒絶や誤解といった課題に直面しています。十分なリソース、政府の全面的支援、遠隔地での活動を可能とするテクノロジーがあれば、これらの地域からもポリオを根絶できると確信しています。

ロータリーは、ポリオ根絶のために毎年5000万ドルを拠出することを目標としています。ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、ロータリーからポリオ根絶への寄付に対し、2倍額を上乗せすることを約束しました。これにより、ポリオ根絶に毎年合計1億5000万ドルが寄付されることとなります。これらの資金は、根絶活動の運営、医療従事者の確保、研究所の設備、啓発用資料のために使用されます。資金の確保においては、政府や企業、個人がそれぞれに大きな役割を果たしますので、皆様の更なるご協力をお願い致します。